事例No.	1630
公表年度	R4
団体の属性	複数団体
団体名	北海道滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・公共施設の集約化等 ・事務の共同実施

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

用水供給事業と 3市1町の 水道事業の統合 ・事業の一元化

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【北海道中空知広域水道企業団】
用水供給事業と3市1町の水道事業の統合・事業の一元化

広域化等 **水道事業**

北海道中空知広域水道企業団営業課

● 取組の概要

用水供給を行う企業団（滝川市、砂川市、歌志内市）と奈井江町が垂直統合し、水道事業に移行するとともに、事業統合後の2年後に水道料金の統一を実現した。

◆総事業費　（算出不能）

◆背景

- 用水供給事業（中空知広域水道企業団）から受水する3市（滝川市、砂川市、歌志内市）は人口減少に伴い、給水量は年々減少し、供給能力に対し余裕を生じていたことから、経営の効率化をこれまで以上に図っていく必要があった。また、隣接する奈井江町は浄水施設の老朽化により安定的な給水に不安があったが、施設更新費用の捻出に苦慮していた。
- これらの課題を解決するため、3市1町の事業統合について検討することとした。

◆具体的内容

- 事業統合による経営の効率化を図るため、奈井江町の浄水施設等を廃止し、奈井江町への送水施設等を新設した。
- 事務の効率化を図るため、3市1町の事務所を企業団の浄水場へ統合した。

◆効果

- 事務の効率化により、収益的支出が削減された（▲約1,180,720千円/8年）。
- 事業統合により、料金水準の統一化を実現できた。

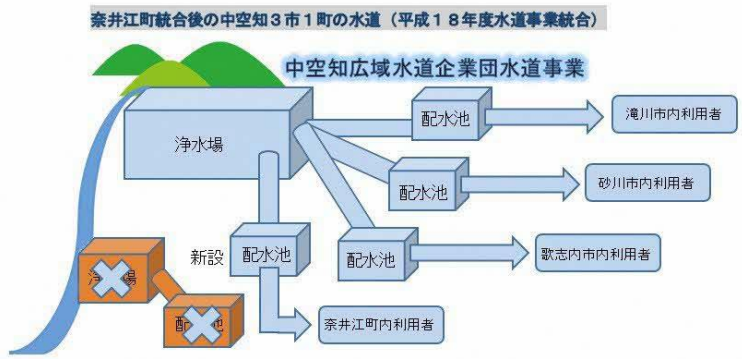
● 取組のポイント

- 重複投資の回避や事務の効率化により、水道料金を引き下げつつも財政収支の改善を図ることができた。また、当企業団統合の際は有利な補助事業を活用することで、水道事業者全ての利益につながった。
- 奈井江町は、事業統合前と比較すると料金水準が引き上がったものの、単独で施設更新等を実施する場合と比較し、将来的な事業費負担を削減することができた。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　62,311人（令和4年3月31日時点）
- 行政区域内面積　154 km²（令和4年3月31日時点）
- 給水人口　61,454人（令和3年度決算）

統合後の水道事業



● 取組のスケジュール

- 平成18年4月1日　水道事業経営認可、3市1町水道事業継承・統合。
- 平成20年4月1日3市1町の水道料金を統合、奈井江町への給水開始。

● 今後の展望

- 老朽化する施設や経年化する管路の更新が今後ピークを迎える中で、人口減少による水需要の減少が喫緊の課題となっているが、長期的な財政収支の均衡を図るため、引き続き効率的施設や管路の更新を実施し、安定した事業運営に取り組む。